



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月13日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5967 URL <https://www.tonetool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 大司郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 0721-51-1386
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	4,540	4.3	745	19.7	785	16.9	536	25.1
2022年5月期第3四半期	4,351	8.1	623	△13.6	672	△10.1	428	△21.4

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 704百万円 (93.5%) 2022年5月期第3四半期 364百万円 (△35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年5月期第3四半期	円 銭 49.74	—
2022年5月期第3四半期	39.86	—

(注) 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年5月期の期首に当該株式分割が実施されたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	10,330	9,049	87.6
2022年5月期	9,972	8,514	85.4

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 9,049百万円 2022年5月期 8,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	—	—	60.00	60.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2022年12月1日付で普通株式1株について5株の割合で行った株式分割後の期末配当金となります。なお、2022年5月期につきましては株式分割前の期末配当金となっております。

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,078	9.8	1,200	21.7	1,240	14.1	840	21.3	77.90

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため2022年5月期の業績予想における1株当たりの当期純利益については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	11,713,000株	2022年5月期	11,713,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	439,820株	2022年5月期	409,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	10,783,478株	2022年5月期3Q	10,753,628株

(注) 2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数及び期中平均株式数については、2022年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が徐々に緩和される中、経済活動は活発化しておりますが、不安定な円相場やインフレによる経済停滞が懸念され、原材料及びエネルギー価格の高騰やウクライナ情勢等の影響は継続しており、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような経営環境の中で、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供するとともに、「締結」に関する課題解決を通じて「満足」「感動」「価値」を提供してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は45億4千万円（前年同期比4.3%増）となりました。また、利益面では営業利益は7億4千5百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益は7億8千5百万円（前年同期比16.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億3千6百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

(国内)

作業工具類の売上高に関しましては、国内の経済活動における工具の消費・受注は新型コロナウイルス感染症以前の水準までには回復しておらず、新製品リリースや提案型の販売促進活動を進めるとともに、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に行っているモータースポーツの応援（レースチームサポートやレース協賛）による継続的なブランディング活動により「TONEブランド」の浸透に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

機器類の売上高に関しましては、資材調達難、着工遅れや、着工見直し等新型コロナウイルス感染症による影響が継続している中、主要都市圏の再開事業の計画等建築需要には明るい兆しが続いております。また、「シャーレンチ」及び「建方1番」製品群に続き、「ナットランナー」製品群にもコードレスタイプの新製品が加わり、トルク管理の観点からも顧客需要を満たす提案活動を行った結果、売上は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は36億7千4百万円（前年同期比4.7%増）となり、セグメント利益は5億6百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

(海外)

作業工具類の売上高に関しましては、設備投資の高まりと対面での営業活動が一部再開し、トルクレンチや新製品を中心とした提案活動を行った結果、売上高は前年同期を上回りました。

機器類の売上高に関しましては、国内同様、主力製品「シャーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売促進活動を展開するとともに、ボルト締結に重要な役割を果たす「トルク管理機器」製品群等、競争優位性の高い製品群の拡張に加え、新規市場開拓を図る等、売上高の伸長に向け、懸命に顧客需要を満たす提案活動を行った結果、欧州等でのエネルギー・インフラ関連の需要及び北米を中心に建築業界における需要を獲得し、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は8億6千5百万円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント利益は2億3千9百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、103億3千万円（前連結会計年度末99億7千2百万円）となり前連結会計年度末に比べ3億5千7百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加7千5百万円、受取手形及び売掛金の減少3億9千4百万円、商品及び製品の増加3億9千1百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億1千1百万円、投資有価証券の増加1億5千9百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、12億8千万円（前連結会計年度末14億5千8百万円）となり前連結会計年度末に比べ1億7千8百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加6千1百万円、未払法人税等の減少2億3千1百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、90億4千9百万円（前連結会計年度末85億1千4百万円）となり前連結会計年度末に比べ5億3

千5百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億3千6百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2022年7月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,698,215	1,773,868
受取手形及び売掛金	1,459,373	1,064,466
商品及び製品	1,239,940	1,631,785
仕掛品	341,109	327,972
原材料及び貯蔵品	1,019,865	1,131,455
その他	118,571	108,277
貸倒引当金	△4,357	△3,602
流動資産合計	5,872,718	6,034,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	673,455	724,460
機械装置及び運搬具(純額)	103,680	112,218
工具、器具及び備品(純額)	24,474	22,214
土地	1,576,096	1,576,096
リース資産(純額)	1,988	1,349
建設仮勘定	34,305	29,203
有形固定資産合計	2,414,000	2,465,541
無形固定資産		
その他	87,041	71,902
無形固定資産合計	87,041	71,902
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229,709	1,388,720
退職給付に係る資産	48,046	48,631
その他	321,363	321,483
投資その他の資産合計	1,599,119	1,758,835
固定資産合計	4,100,161	4,296,280
資産合計	9,972,879	10,330,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,078	674,668
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
短期借入金	—	100,000
リース債務	937	937
未払法人税等	231,849	—
賞与引当金	131,924	59,916
未払金	147,939	112,778
未払費用	50,281	37,329
製品保証引当金	35,505	35,346
その他	33,031	51,820
流動負債合計	1,344,546	1,072,797
固定負債		
リース債務	1,249	546
繰延税金負債	99,271	161,577
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	6,030	6,240
株式給付引当金	—	31,897
その他	3,800	3,800
固定負債合計	114,131	207,841
負債合計	1,458,678	1,280,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	633,555	650,559
利益剰余金	7,568,730	7,969,413
自己株式	△511,113	△561,537
株主資本合計	8,296,172	8,663,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,309	349,947
為替換算調整勘定	19,719	36,483
その他の包括利益累計額合計	218,028	386,430
純資産合計	8,514,201	9,049,866
負債純資産合計	9,972,879	10,330,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	4,351,194	4,540,306
売上原価	2,497,166	2,508,186
売上総利益	1,854,028	2,032,119
販売費及び一般管理費	1,230,951	1,286,402
営業利益	623,076	745,716
営業外収益		
受取利息	120	1,651
受取配当金	25,024	40,292
為替差益	21,263	28,414
投資有価証券売却益	—	315
その他	8,689	7,994
営業外収益合計	55,098	78,668
営業外費用		
支払利息	4,244	628
固定資産除売却損	16	37,070
その他	1,583	1,014
営業外費用合計	5,844	38,714
経常利益	672,330	785,670
税金等調整前四半期純利益	672,330	785,670
法人税、住民税及び事業税	196,629	194,579
法人税等調整額	47,022	54,765
法人税等合計	243,652	249,344
四半期純利益	428,677	536,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	428,677	536,325

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	428,677	536,325
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△74,063	151,637
為替換算調整勘定	9,534	16,763
その他の包括利益合計	△64,529	168,401
四半期包括利益	364,148	704,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,148	704,727
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得したため、当第3四半期連結累計期間において自己株式が50,424千円増加しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

① 前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,510,726	840,467	4,351,194	4,351,194
計	3,510,726	840,467	4,351,194	4,351,194
セグメント利益	441,410	181,666	623,076	623,076

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,674,681	865,624	4,540,306	4,540,306
計	3,674,681	865,624	4,540,306	4,540,306
セグメント利益	506,347	239,369	745,716	745,716

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。